

1 学校課題

「学び合いの授業を通じた、力強く生きる生徒の育成
—すべての生徒が輝くために—」

2 研究計画

学びの共同体を組織することにより、本校のビジョン「生徒も先生も生き生きと輝く学校に」その中の「輝く授業」に近づけるのではないだろうか。

- (1) 「学びの共同体」の共通理解のもと、全職員で協同的な学びを組織する。
- (2) 教師が互いに授業を見せ合い、年2回の公開授業を行うなど校内研修を実施する。

3 研究内容

- (1) 「学びの共同体」の取組の共通理解
 - ①「勉強」から「学び合い」へ
 - ②小グループによる学習場面の創造。多種多様な携帯の研究。
 - ③問題解決学習場面の創造
 - ④授業時間の、生徒の活動時間の確保。
 - ⑤教師のテンションを下げる。
 - ⑥学びの作法等、指導・指示は徹底。
- (2) 学びを中心とした授業の創造
 - ①課題提示などの工夫。
 - ②生徒の学びに値する学習課題の工夫・設定。
 - ③思考力・判断力・表現力を育む学習活動の展開。
 - ④学びの時間の確保。
 - ⑤生徒が分かったことを説明する授業の展開。
- (3) 授業の形態
 - ①コの字形の教室
 - ②4人男女混合のグループによるグループ学習の展開
 - ③「活動（個人作業）」「協同（グループ活動）」「表現の共有（対話）」などの展開
 - ④質の高い課題の準備
- (4) 教職員の取組み
 - ①職員間の情報交換等による同僚性の育成。
 - ②対話重視の中から生まれる教師と生徒のよりよい関係作り。
 - ③教師のテンションは下げる。くどい説明はしない。
 - ④教えるべきところは、しっかり教え身につけさせる。
 - ⑤学びの作法を身につけさせる。
 - ⑥授業中の生徒指導の確立。
 - ⑦開かれた教室。開かれた学校。常時、参観が認められた授業。
 - ⑧年2回の授業公開研究
- (5) 自主公開研究会の実施
 - 6月17日（火）・12月1日（火）の2回自主公開研究会の実施。
 - 10月9日（水）・3月16日（月）の2回S&Uコラボ公開研究会の実施。

6月17日 第1回自主公開研究会の様子



午前全クラス・全授業者の授業公開 午後は焦点授業（2年理科）

國學院大學より、齋藤智哉先生をお呼びして、学びの共同体の理念について講話をいただきました。

12月1日 第2回自主公開研究会の様子



午前全クラス・前授業者の授業公開 午後は焦点授業（2年数学）

学びの共同体研究会から稲葉義治先生（元富士市立田子浦中学校校長）をアドバイザーとしてお呼びして、全クラスの様子を見ていただき、具体的に学び合いの方法について講話をいただきました。

10月9日 第1回S&U コラボ公開研究会の様子



午前全クラス・前授業者の授業公開 午後は焦点授業（1年保健体育 2クラス）

宇都宮大学から松本敏先生をお呼びして、指導講評をいただきました。

4 本年度の成果と課題

(1) 成果

- ①学習形態では、コの字型、4人グループ、ペア学習等、学習内容に応じて学習形態を工夫することで、話し合いの雰囲気やよりよい人間関係の育成ができた。
- ②生徒たちは、話し合いを通して、課題を深めたり、思考を深めたりすることができるグループが見られるようになった。

(2) 課題

- ①ジャンプ課題の内容や投入のタイミング、関心や意欲を喚起・持続させる課題など、どのように設定すべきか、検討が不十分であった。
- ②分からない生徒や孤立する生徒など話し合いに参加できない生徒をどのように他の生徒とつなぐかなど、具体的な手法が不十分であった。

以上のことを踏まえながら、次年度では、さらに研究を深めていきたい。